

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道438号 <small>かみはちまん</small> 上八万バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	徳島県	
起終点	徳島県徳島市八万町大坪 <small>とくしまけん とくしましはちまんちよう おおつば</small> 徳島県名東郡佐那河内村一ノ瀬 <small>とくしまけん みやとうどうくんなごうちそんいちのせ</small>	延長	5.5 km			
事業概要 国道438号は、徳島市を起点とし香川県坂出市に至る県中央を横断する幹線道路であり、当該区間においては、高規格幹線道である徳島南環状道路の大木ICへ接続して徳島市内の放射環状道路を形成する重要な道路であるが、幅員狭小で、歩道も未設置であり、潜水橋である西地橋等の冠水区間が残り、交通の隘路区間となっている。このため、大木交差点などで慢性的な交通渋滞が発生しており、地域の活性化を図るうえで妨げになっている。 当該事業は、国が進める徳島南環状道路などと連携して、現道拡幅やバイパス道路の整備を図り、安全で円滑な通行を確保することにより隘路区間を解消して、地域の振興に大きく寄与する。						
S63年度事業化		H1年度都市計画決定 (H1年度変更)		H3年度用地着手		
				H4年度工事着手		
全体事業費	85億円	事業進捗率	46%	供用済延長	1.6 km	
計画交通量	21,700台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	3.6	総費用 (残事業/事業全体)	43/91億円	総便益 (残事業/事業全体)	283/329億円
	(残事業)	6.6	事業費	38/85億円	走行時間短縮便益	278/324億円
			維持管理費	5/6億円	走行費用減少便益	6/6億円
					交通事故減少便益	-1/-1億円
事業の効果等 ・渋滞対策ポイントの解消（大木交差点） ・物流効率化の支援（農林水産品の流通の利便性が向上） 他7項目に該当する。						
関係する地方公共団体等の意見 当該区間は幅員狭小で円滑な通行が阻害され、交通渋滞も著しいため、徳島市、佐那河内村他7町村が加盟する「国道438・439号並びに主要地方道山城東祖谷山線改良促進期成同盟会」が平成11年11月10日に早期整備を求める要望があった。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 周辺の宅地開発により、人口が増加し、大木地区における渋滞がますます深刻化している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成15年度より大木地区の用地買収を開始した。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 国道192号徳島南環状道路と交差する大木地区及び佐那河内村一ノ瀬地区の道路計画について地元調整に時間を要したが、現在は順調に進捗しており、引き続き用地取得を促進し、早期供用を図る。						
施設の構造や工法の変更等 平地部の擁壁をプレキャスト製品を用いることにより、コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	(起) 徳島市八万町大坪 上八万バイパス L=5.5 km (終) 名東郡佐那河内村一ノ瀬 図に示す通り、大木IC、花原、田中、西地、佐那河内村一ノ瀬の各地点を通るルートを示している。					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。